

Global Express

SAMPLE vol. 11 2010 March, Chile earthquake

グローバル・エクスプレス サンプル版第11号 2010年3月9日発行

この教材の著作権は(特活)開発教育協会に所属し、本誌の全部または一部を無断で複製・転載・引用・要約することは禁じます。本誌の「生徒用ワークシート」の複製による利用は、学問的な利用、教室・研究会等での利用に限ります。

Chile チリ地震報道

2010年2月27日午前3時半(日本時間同日午後3時半)、チリでマグニチュード8.8の大地震が発生しました。地震により発生した津波が主な原因となり、現地では死者800名を超える被害が出ています。また、この津波は日本にも到達しました。

まず、チリという国と、チリと日本の関係を知り、地震報道のあり方について考えてみましょう。

導入のアクティビティ: 新聞記事を読んでみよう

◆目的・視点:

- ①地震による被害状況を知る。
- ②日本への地震の影響(主に津波)について知る。
- ③新聞社により報道の内容に違いがあることに気付く。

◆対象: 小学校中学年以上

◆所要時間: 15~30分程度

◆資料: チリ地震に関する新聞記事

◆すすめ方のヒント:

①時系列に並べてみよう

地震発生当日から今日までの新聞記事の中からチリ地震を報道するものを切り抜き、時系列に並べてみましょう。記事の大きさ、内容はどのように変化しているでしょうか?記事の中で、特に重要だと思う内容はどれか話し合ってみましょう。

②津波警報に関する記事を読み比べてみよう

日本の海岸線へも押し寄せた津波。後日、気象庁により発表された大津波警報について賛否両論が出されました。各紙の津波警報についての記事を読み比べ、ひとつの出来事についての、さまざまな意見や見方を知りましょう。

③報道の内容を比べてみよう

新聞社により、チリの状況を詳しく伝えるもの、経済への影響を伝えるものなど多様です。読み比べて、地震によるさまざまな影響について知りましょう。



アクティビティ1: チリはどこだろう？

◆目的：世界の中のチリの地理的理解を深める

◆対象：小学校中学年以上

◆所要時間：15～30分程度

◆資料・備品：新聞記事（日本への津波について書かれたもの）、地球儀（あれば）、世界地図、南米地図

◆すすめ方：

- ① 「チリ地震が原因で日本にも津波が来ました」「チリはどこにあるかな？」などと発問。
- ② 教師は教室の真ん中か広い場所に立ち、「わたしはチリの首都のサンチアゴです」と言い、東西南北を指し示します。
- ③ 子どもたちに、アメリカ、イギリス、日本、オーストラリア、中国またはほかの国が位置する場所に立つよう指示します。
- ④ 子どもたちがそれぞれの場所に立ったら、話し合いをしながら、最終的に正しい場所に立つようにします。地球儀や世界地図を使ってもいいでしょう。
- ⑤ その後、席につき、南米地図もしくは世界地図を利用して地理的理解を深めます。
 - ・チリの場所をみつけて色を塗ってみましょう。
 - ・チリと国境を接している国はどこでしょう。その国名をあげてみましょう。
 - ・チリは日本や米国より大きいでしょうか（チリの面積は日本の約2倍）。想像してみましょう。

◆参考資料：

■人口

日本	1億2千700万人
米国	3億1千400万人
中国	13億4千500万人
チリ	1千700万人
ハイチ	1千万人

■1人あたり国民総所得

日本	34,750USドル
米国	45,840 USドル
中国	5,420 USドル
チリ	12,300 USドル
ハイチ	1,050 USドル

■改善された水源の利用

日本	100%
米国	99%
中国	88%
チリ	95%
ハイチ	58%

■1人あたりエネルギー消費量

日本	4,129
米国	7,768
中国	1,433
チリ	1,812
ハイチ	272

■5歳未満児死亡率（出生千対）

日本	5/4（男/女）
米国	7/8
中国	25/35
チリ	10/8
ハイチ	90/80

■都市人口の割合

日本	67%
米国	82%
中国	44%
チリ	89%
ハイチ	48%

※出典：世界人口白書 2009 (<http://www.unfpa.or.jp/>)

・1人あたり国民総所得：1人あたり購買力平価（PPP）による国民総所得（GNI）。この指標は以前は1人当たりGNP（国民総生産）と言っていたが、国内への配当（送金）や国外からの請求は考慮せず、人口の規模に関して、居住者と非居住者によって生産された最終使用の財およびサービスの総生産額を示す。したがってある国民の経済的生産力の指標となる。

・エネルギー消費量：年間国民1人当たりの石油1kgに相当する商業用第1次エネルギー（石炭、褐炭、石油、天然ガス、水力・原子力・地熱電気）の消費量を示す。

・改善された水源：水源が改善され、十分な量の安全な飲料水を利用者の住居から便利な距離の範囲内で入手している人口の割合。



アクティビティ2: チリの国旗はどんな旗？

◆目的：チリの歴史的背景を知る

◆対象：小学校中学年以上

◆所要時間：15～30分程度

◆資料：ワークシート

◆すすめ方：

①□グループにワークシートを配り、どれがチリの国旗か考える。

②□答え合わせ、全体で共有。(→答えは最後のページに記載)

③□チリの国旗の色の意味、歴史を簡単に紹介する。

◆旗の色と歴史について：

白い星＝進歩と名誉、青＝空、白＝アンデス山脈の雪、赤＝独立のために流された血を意味します。チリは15世紀から約300年にわたり、スペインの植民地となっていました。長きにわたる独立運動・戦争の末、1818年に独立国家となりました。現在は、スペイン系75%、その他の欧州系20%、先住民系5%の民族が暮らしています。また、言語はスペイン語で、カトリック系キリスト教者が国民の88%を占めています。

(参考資料：外務省 チリ共和国 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/chile/data.html>)

ワークシート:チリの国旗はどんな旗？

1



2



3



4



アクティビティ3: わたしたちの暮らしとチリ

◆目的:

- ①チリと日本の経済的な関係を知る
- ②経済のグローバル化について考える

◆対象: 中学生以上

◆所要時間: 30分程度

◆資料: 新聞記事、ワークシート

例) 日経新聞 2010年3月2日(火) 朝刊「チリ大地震市場に余波」

例) 東京新聞 2010年3月1日(月) 朝刊「日本企業情報把握遅れ 銅、水産物の調達影響も」

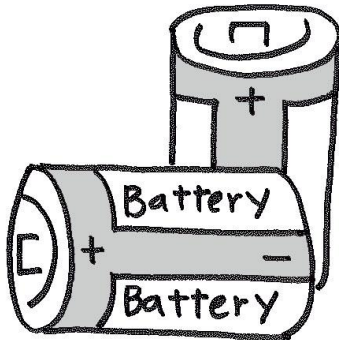
◆すすめ方:

- ①ワークシート「チリ・クイズ」を1人1枚配布し、クイズに答えてもらう。
- ②小グループで話し合いながら答えを決め、全体に発表する。
- ③答え合わせをし、チリとの貿易について書かれた新聞記事を読む。(答え: 1~4の全てが正解です)
- ④意外だったこと、発見したこと、感じたことを全体で共有する。

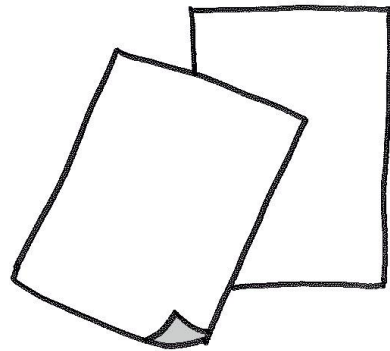
ワークシート:チリ・クイズ

◆チリから日本に来ているモノが使われているのは次のうちどれでしょう？

1 乾電池



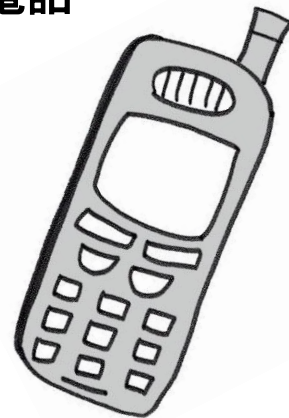
2 紙



3 シャケ弁当



4 携帯電話



◆なぜそれを選びましたか？理由を書いてみましょう

◆回答と解説：4つ全部が正解です！

1. 乾電池

チリは電池の材料となるリチウムの最大産出国です。
日本の「リチウム炭酸塩」の輸入量の約80%はチリ産です。

2. 紙

日本は主に紙の原料となる「チップ・小片木材（針葉樹以外のもの）」「熱帯産でない針葉樹木材」「さらした針葉樹の化学木材パルプ」などを輸入しています。その合計の輸入量の約30%はチリ産です。

3. シャケ弁当

コンビニ弁当や回転寿司、スーパーで販売している切り身のシャケ・マスのほとんどがチリ産です。
また、日本国内の養殖魚の餌となる魚粉は日本の輸入量全体の10%を占めます。

<鮭の切り身（70g）のフードマイレージ>

国産の場合（北海道根室）：輸送距離 1,037km、CO2 排出量 12g

チリ産の場合（チリのチロエ島）：輸送距離 17,202km（国産の16.6倍）、CO2 排出量 46g（国産の3.8倍）

4. 携帯電話

携帯電話のバッテリー（充電地）に使われるリチウムや、プリント基板に使われる銅の多くはチリ産です。
特にチリの銅鉱石の生産量は世界の3割を占めており、日本の「銅鉱（含む精鉱）」の輸入量の約40%、「陰極銅・その切断片」の輸入量の約50%はチリ産です。

チリからの主要輸入品目名(2008年)	日本の輸入元の中でチリ産の占める割合	2008年度計(千円)	構成比	シェア(チリからの輸入品の比率)
銅鉱(含む精鉱)	1	416,313,679	50.8%	40.1%
モリブデン鉱(含む精鉱、焼いたもの)	1	84,915,765	10.4%	50.9%
チップ・小片木材(針葉樹以外のもの)	2	48,389,689	5.9%	19.2%
陰極銅・その切断片	1	39,033,241	4.8%	53.6%
その他の太平洋さけ(冷凍のもの)	1	31,212,036	3.8%	93.0%
その他の冷凍したフィレ	1	29,899,143	3.6%	19.0%
ます(冷凍のもの)	1	17,877,732	2.2%	80.5%
鉄鉱(含む精鉱、除く焼いた硫化鉄鉱、凝結させたもの)	3	13,760,911	1.7%	8.2%
フェロモリブデン	1	12,979,104	1.6%	75.4%
豚の枝肉・骨付き以外の肉(冷凍のもの)	5	12,411,894	1.5%	4.3%

出典：日本貿易振興機構（JETRO）、フードマイレージ・キャンペーン（<http://www.food-mileage.com/>）、『ケータイの一生』（DEAR）

◆発展学習：

- ・携帯電話とレアメタルについて理解を深める
『ケータイの一生～ケータイを通して知るわたしと世界のつながり』（開発教育協会、2008年）
- ・経済のグローバル化や自由貿易について理解を深める
『貿易ゲーム～経済のグローバル化を考える』（開発教育協会＋神奈川国際交流財団、2007年）



アクティビティ4: わたしの気持ち

◆目的: チリ地震に関する気持ちに気づき、共有する。

◆対象: 小学校高学年以上

◆所要時間: 30分程度

◆資料: 新聞記事(賛否両論のある記事がよい)、ワークシート

例) 読売新聞 2010年3月2日(火)朝刊「略奪「仕方ないだろ」足りぬ物資治安悪化」

例) 朝日新聞 2010年3月1日(月)夕刊「略奪防止へ軍隊を投入」

例) 朝日新聞 2010年3月4日(木)朝刊オピニオン「略奪者—被災地の現実は伝わったか」

→ハイチ地震について述べた記事ですが他の記事に無い視点を提供しており、お勧めです。

◆すすめ方:

①新聞記事を配布し読む。

②1人1枚ワークシートを配り、自分の気持ちに最も近いものを3つまで選び○をつける。

③空欄には、リストにない自分の気持ち(あれば)を書いてもらう。

④小グループをつくり、互いにどれを選んだのか、なぜそれを選んだのかについて話し合う。

④全体で共有する。

ワークシート: わたしの気持ち

◆あなたの気持ちに最も近い3つに○をつけましょう

◆リストにないあなたの気持ちを空欄に書きましょう

おどろいた	おもしろい	かわいそう	くだらない
腹が立つ	わけがわからない	しかたがない	心配だ
自分には関係ない	わくわくする	興味がない	悲しい
こわい	くやしい	うれしい	

アクティビティ5: チリ地震報道のニュース・バリュー

◆目的:

- ① 発信者／受け取り手によってニュースの価値（ニュース・バリュー）が異なることを知る
- ② “南”の国々に対する固定観念や先入観に気付く。

◆対象: 小学校高学年以上 ◆所要時間: 30～45分程度 ◆資料: 新聞記事、ワークシート

◆すすめ方:

- ① ワークシートを1人1枚配布する。「あなたにとって重要なニュース」の順にA～Iを並べる。
- ② 次に、「チリの人にとって重要だと思うニュース」を想像しA～Iを並べる。
- ③ 小グループをつくり、なぜそれを選んだのか、どの時期の誰を想定したのかについて話し合う。
- ④ 全体で共有し、実際の新聞記事を見ながら「ニュース・バリュー」について気がついたこと、思ったことを意見交換する。

※ 日本では「市民による略奪行為」の記事が大きく掲載されたが、それは誰にとってどう重要な情報だろう？また、そのニュースはわたしたちが持つチリへの固定観念にどのような影響があるだろう？

※ 今後来るべき地震に備えるために重要だと思うニュースはどれだろう？

※ チリの主な観光地は今回の地震の影響を受けていないにも関わらず、旅行のキャンセルが相次いでいるという。「チリの全てが被災地ではない、観光が最大の支援」というチリの新聞記事もある。

例) SANTIAGO TIMES (<http://www.santiagotimes.cl/>) 「'Not All of Chile Is Like The Images In The Media'」 「Best Way to Help Chile is to Travel to Chile,' Tourism Company Says」

ワークシート:チリ地震報道

最も重要

最も重要でない

A 被災した人々や被害の状況を伝えるニュース

B 津波の発生と、とるべき対応を伝えるニュース

C 被災者が何を必要としているのかを伝えるニュース

D チリ産の鉱物資源や水産資源などへの影響を伝えるニュース

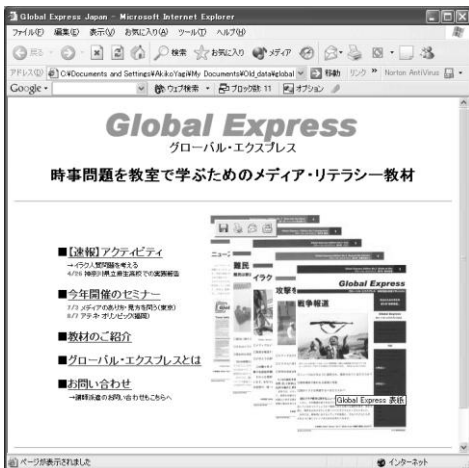
E 被災地で市民による商店や倉庫への「略奪」が起こっていることを伝えるニュース

F チリの政府や市民による支援活動を伝えるニュース

G 今後起こるかもしれない地震に備えてできる対策について伝えるニュース

H 日本の政府や市民による支援活動を伝えるニュース

I チリの被災地以外の状況や日常を伝えるニュース



■レポート、感想をお寄せください

<http://www.dear.or.jp/ge/>

ウェブサイトからの教材ダウンロードも、とても多くの方にご利用いただいています。タスクチームでは、教材をご覧になった感想や、レポートを募集しています。

「こう使った」「ここが使いにくかった」「こんな風に応用させた」等々、どんなことでも結構です。

実践報告をウェブサイトの「実践レポート」コーナーに掲載することもできますので、ご希望の方は下記 DEAR 事務局(担当:八木)までご連絡ください。

■ グローバル・エクスプレス日本版 第1号～5号 好評頒布中！

教育の現場で活用できるアクティビティが詰まったグローバル・エクスプレス。ぜひセットでお求めください。

セット:会員価格 1,600 円、一般販売価格 2,000 円

- 第1号 ニュースに耳を傾ける(基本編)
- 第2号 攻撃を超えて(9.11 同時多発テロとイスラム)
- 第3号 難民(難民、日本における難民政策)
- 第4号 イラク(イラク問題、紛争の解決)
- 第5号 戦争報道(イラク戦争と報道)



→ 「グローバル・エクスプレス サンプル版」について

- ・グローバル・エクスプレス・タスクチームが時事問題をテーマにした教材を速報アクティビティとして提案します。
- ・速報アクティビティへのご意見・ご提案・実践報告は大歓迎です。
- ・今年度、グローバル・エクスプレス・タスクチームには、ほとんど活動予算がありません。ご寄付も歓迎します。(ご寄付は、セミナー開催費用、冊子印刷費用、HP維持費、資料購入費などに利用いたします)

→ この教材のご利用について

この教材の著作権は(特活)開発教育協会に所属し、本誌の全部または一部を無断で複製・転載・引用・要約することは禁じます。本誌の「生徒用ワークシート」の複製による利用は、学問的な利用、教室・研究会等での利用に限ります。

特定非営利活動法人 開発教育協会(DEAR)

〒112-0002 東京都文京区小石川 2-17-41 富坂キリスト教センター2 号館 3 階

Tel: 03-5844-3630 Fax: 03-3818-5940

E-mail: main@dear.or.jp URL: <http://www.dear.or.jp>



■アクティビティ2の答え

- ①アルゼンチン ②ペルー ③チリ ④ブラジル